

## 審判上の注意

- 1 本大会は、平成28年度（公財）日本バレーボール協会6人制の競技規則 及び（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部による6人制ルールの取り扱い に従って行います。
- 2 本大会は、全試合公式練習を実施します。
- 3 トスは、チームキャプテンがユニフォームで立ち会ってください。ラインアップシートは公式練習中に記録席に提出してください。
- 4 公式練習は、各チーム3分間です。合同の場合は6分です。
  - ① 監督およびチームキャプテンは、トスの後記録用紙で登録メンバーを確認し、サインをしてください。その際、監督はリベロを記録員に伝えてください。
  - ② 記録員は、リベロの番号・氏名を記録用紙の「リベロ選手」欄に転記します。リベロがない場合は、空欄にしておきます。
  - ③ 副審は、ラインアップシートが提出されたら、記入に不備がないか確認し、記録員に記入させます。

同じ番号が2カ所以上にある、エントリーされていない番号がある、空欄がある、これらの場合は、チームに差し戻し、書き直しをさせます。

その他の場合は、0対0での選手交代で処理し、選手交代ができない場合は、そのまま試合を開始します。
- 5 公式練習は、エントリーされたメンバー以外は認められません。公式練習からは、エントリーされたメンバー以外はフロア内の立ち入りを禁止します。
- 6 危険防止のため、ボールケースは、ベンチから離れた壁際、またはウォームアップエリア内に置いてください。また、ベンチの荷物も椅子の下などに整理してください。
- 7 ラインアップシートは、セットごとに出してください。
- 8 監督、コーチ、マネージャーは、それぞれ定められたマークを左胸につけてください。試合中、監督はベンチの最も記録席に近い位置に座ってください。
- 9 生徒のマネージャーを除いて、監督、コーチ、マネージャーは統一された服装でベンチに入ってください。
- 10 リベロの交代は、リベロリプレイスメントゾーンで行ってください。また、その際は、両選手がサイドライン上で ①片手を上げ、②一時停止し、③同時に出入りする ようにしてください。
- 11 反則等で吹笛された選手は、手を挙げてください。暴言や威嚇などスポーツマンとしてふさわしくない行為は慎んでください（相手へのガッツポーズ、床を踏み鳴らすなどは威嚇行為です）。

- 12 試合はワンボールで行います。ボールデッドになったら、速やかにボールを拾い、サービングチームに返球してください。このとき、ボールはネットの下を転がしてください。ボールを打ちつけて返すことはやめてください。また、不必要なコート外への飛び出しは、遅延行為となります。
- 13 タイムアウトの要求は、監督が①ベンチから立ちあがり、②口頭で、③ハンドシグナルを用いて、明確に示してください。
- 14 選手交代のとき、交代する両選手は手を挙げてください。
- 15 ウォームアップエリアがない場合には、ベンチから離れたラインジャッジの妨げにならない場所でウォームアップをしてください。
- 16 **試合中、コート内の選手はワイピング用のタオルをつけてプレーしてください。**ワイピングは、コート内の選手が行ってください。タイムアウトとセット間は、登録されたメンバーがモップを入れてください。
- 17 ユニフォームの番号やリベロジャケットの色は、ユニフォームと対照的な色と明るさのものを着用してください。
- 18 主審よりスクリーン形成を指摘された場合は、反則にならないよう速やかにフォーメーションまたはサービスの軌道を変えてください。再発した場合は軽度の不法な行為として処置されます。
- 19 公式記録、ラインジャッジ、点示は登録メンバーで行ってください。
- 20 本大会では、**給水のためのテクニカルタイムアウト(以下、TTO)**を導入します。各セット(第3セットを含む)において、リードするチームが13点に達したとき、自動的に30秒間のTTOが適用されます。このTTOは生徒および生徒役員の給水を目的とするものであり、選手はウォームアップエリアで給水を行います。この間、チームスタッフはベンチに座ってなければなりません。第3セットは、13点でチェンジコートをした後に、引き続きTTOを適用します。
- 21 7月28日、29日の審判は派遣審判員と出場校の先生で運営します。コントローラーが割り振りますので、確認してください(基本的には、出場校の先生には第3試合～第6試合の副審を担当していただきます)。  
審判経験の少ない方などは、あらかじめコントローラーに申し出てください。各校の顧問の先生は、**長短2種類のホイッスル**と秒単位で計れる**腕時計**を持参してください。
- 22 7月30日の審判は、神奈川県中体連バレーボール専門部の審判委員と開催地区の生徒役員で行います。